

新潟
県

教育月報 6 月号

第 910 号

令和 8 年 6 月 1 日発行

<今月号の記事>

	対象校種
1 : 教育ニュースライン	P 1 全種
2 : 令和 9 年度 (令和 8 年度実施) 管理職選考検査について	P 2 全種
3 : 「学校における文化芸術鑑賞・体験推進事業」ならびに「舞台芸術等総合支援事業」について	P 3 全種
4 : 高等教育の修学支援新制度について	P 4-5 全種
5 : 「いじめ見逃しゼロ県民運動」の推進に向けて	P 6 全種
6 : 学校と地域の連携・協働の推進について	P 7 全種
7 : 「土砂災害防止に関する絵画・作文コンクール」について	P 8 小中
8 : 「持続可能なグローバル社会の創り手」の育成支援について	P 9 全種
9 : インフォメーション	P 10-12 全種

教育ニュースライン

県教育に関する最新ニュースをお知らせします。

遠隔教育配信センターを開設しました

令和 8 年 4 月、県立碧高等学校校舎内に、「新潟県遠隔教育配信センター」(以下、配信センター)を開設しました。県内の小規模高校等を中心に遠隔授業を行うことを目的として、11 人の配信専任教員を配置し、4 月中旬から本格的に授業配信を開始しています。

これまで本県の遠隔教育は、学校間で配信、受信を行ってきましたが、今後は、この配信センターが新たな遠隔教育の中核としての役割を担うこととなります。

配信センターの愛称は「N-PORTA (エヌポルタ)」であり、「N」は新潟、ネットワーク、ネクスト(次世代の教育)を表し、「PORTA」はイタリア語で入り口や扉を表します。

配信センターが、新たな学びの扉を開く拠点となり、さらに、地理的な条件に左右されことなく多様な学びにアクセスできる入り口としての役割を担ってほしいという思いを込めたものです。

配信センター内は、配信機器を備えた配信ブースや配信スタジオ等を設置し、教員が円滑に授業配信できる執務環境を整備しています。

今年度は、県内 22 校を対象に、延べ 40 科目を配信します。また、大学等と連携した講演会や、生徒の進路希望に応じた大学進学講習等の配信、オンデマンド型授業に係るポータルサイトの構築なども予定しています。

今後も、生徒の学ぶ環境の充実に向けて、遠隔教育の推進に取り組んでいきます。



【左：配信ブース 右：ブース内授業配信の様子】



【配信スタジオでの 2 校同時配信の様子】



令和 9 年度 (令和 8 年度実施) 管理職選考検査について

義務教育課

はじめに

近年の新潟県の大きな課題として、教頭選考検査の出願者数の減少があり、管理職を目指す人材の育成が急務となっています。今年度の管理職選考は、教頭選考検査及び主幹教諭選考検査の方法を一部変更して実施します。

○校長・副校長選考検査：従来通り実施します。

○教頭選考検査及び主幹教諭選考検査：筆答検査を行いません。ただし、申込時に論文を含む調書を作成し、提出します。申込締切を 8 月末とし、提出期間を大幅に延長します。

本県の管理職は本県の教員からしか登用されません。ぜひ、多くの方から管理職を目指してほしいと強く願っております。

また、下記の 2 つのセミナーを実施します。(詳細は後述)

令和 9 年度管理職選考検査の日程

- 1 校長・副校長選考検査
 - (1) 筆答検査 令和 8 年 7 月 31 日 (金)
 - (2) 面接検査 令和 8 年 10 月 (予定)
- 2 教頭選考検査
 - ・面接検査 令和 8 年 10 月～11 月 (予定)
- 3 主幹教諭選考検査
 - ・面接検査 令和 8 年 10 月～11 月 (予定)

未来のリーダー育成セミナー

未来のリーダーを目指す教員を募集します。男性女性ともに、多くの方の参加をお待ちしております。

- 1 日時
令和 8 年 6 月 27 日 (土)
午前 10 時から午前 11 時まで
- 2 対象
 - ・学校づくり、職員集団づくりに関心のある若手教員
 - ・将来管理職を目指している教員
 - ・管理職とはどのようなものか知りたい教員

3 研修内容

- ・管理職のやりがいと魅力
- ・管理職選考検査の内容、要件
- ・リーダーを目指す仲間との情報交換
- ・先輩管理職とフリートーク
- ・質疑応答 等

※オンライン形式で行います。

女性のためのキャリアアップセミナー

キャリアアップを目指す女性教員を募集します。皆さんの参加をお待ちしています。

- 1 日時
令和 8 年 7 月 11 日 (土)
午前 10 時から午前 11 時まで
 - 2 対象
 - ・学校づくり、職員集団づくりに関心のある女性教員
 - ・管理職に就いてみたいと思っている女性教員
 - ・管理職選考検査はどのようなものか不安に思っている女性教員
 - ・今年度、初めて教頭選考検査又は主幹教諭選考検査を受検する女性教員
 - ・所属長が推薦したい女性教員 等
 - 3 研修内容
 - ・管理職のやりがいと魅力
 - ・管理職選考検査の内容、要件
 - ・先輩女性管理職とフリートーク
 - ・質疑応答 等
- ※オンライン形式で行います。

おわりに

校長先生方におかれましては、力量ある職員への声掛け等をしていただき、管理職への推薦と、管理職を目指す人材の育成に努めていただき、志願者の増加につながるよう、一層のご尽力をお願いします。

[お問い合わせ]
義務教育課管理第 1 係
電話 025-280-5602



「学校における文化芸術鑑賞・体験推進事業」ならびに 「舞台芸術等総合支援事業」について

義務教育課

はじめに

文化庁の「学校における文化芸術鑑賞・体験推進事業」は、小学校・中学校等に文化芸術団体又は個人や少人数の芸術家を派遣し、芸術家による表現手法を用いた計画的・継続的なワークショップ等を授業内で実施する事業です。

同じく「舞台芸術等総合支援事業」は、独立行政法人日本芸術文化振興会の採択を受けた各分野（音楽、演劇、舞踊、伝統芸能、メディア芸術）のトップレベルの団体が、実施校において実演芸術の公演・メディア芸術の体験プログラムを予算の範囲内で実施します。また、公演とは別に、公演に関するワークショップを行います。ワークショップでは、公演の鑑賞や体験をより効果的なものとするため児童生徒に対して鑑賞指導や実技指導、共演の練習等を行います。

子どもたちの豊かな創造力・想像力や思考力、コミュニケーション能力等を養うとともに、将来の芸術家や観客層を育成し、優れた文化芸術の創造につなげることを目的としています。

事業内容

○学校における文化芸術鑑賞・体験推進事業

・芸術家の派遣

個人又は少人数の芸術家による文化芸術に関する講話、実技披露、実技指導を行います。興味のある芸術家を講師として招き、話を聞いたり、実技指導を受けたりします。直接、文化芸術を見て触れて体感することができます。

【募集時期：9～10月頃】

・コミュニケーション能力向上

対話を通じた創作表現に係る計画的・継続的なワークショップ等を行います。個人の芸術家・小規模な芸術家グループを学校に招へいし、表現手法を用いた計画的・継続的なワークショップ等を最大 12 回まで実施することができます。

【募集時期：9～10月頃】

・子供 夢・アート・アカデミー

功績顕著な芸術家である「日本芸術院協力会員」が、文化芸術に関する講話や実技披露、実技指導を行います。

【募集時期：9～10月頃】

・ユニバーサル公演

障がいの有無に関わらず楽しめる工夫が盛り込まれた公演等が行われ、「障がいのある芸術家等が活躍する取組」、「字幕や音声ガイド等を設置するだけでなく、障がいのある子どもたちも主体的に芸術鑑賞・体験ができるよう工夫された取組」のいずれか、または両方を満たす企画から選択することができます。【募集時期：11～12月頃】

・文化施設等活用公演

各実施校の所属する地域又は当該地域と連携が可能な地域の美術館、博物館、音楽ホール、能楽堂等の文化施設等を活用します。1校での申請・実施はできません。

【募集時期：9～10月頃】

○舞台芸術等総合支援事業（学校巡回公演）

本公演前に文化芸術団体が実施校へ赴き、鑑賞指導や実技指導を行うワークショップでは、公演の鑑賞や児童・生徒との共演をより効果的なものとすることができます。

【募集時期：12～1月頃】



おわりに

令和 9 年度の事業は、今年度中に、事業ごとに募集が行われます。ぜひ御活用ください。

<お問い合わせ先>

文化庁 E-mail : artedu@mext. go. jp



ホームページはこちら



高等教育の修学支援新制度について

高等学校教育課

はじめに

高等教育の修学支援新制度（授業料等減免・給付型奨学金）は、生徒が、経済的な理由により進学をあきらめることのないよう、進学に要する費用を支援する国の制度です。

本号では、本制度の概要について紹介しますので、生徒の進路指導等の参考としてください。

制度の概要

本制度では、授業料・入学金の減免と、返済不要の給付型奨学金の支給を行い、生徒の進学を支援します。

1 制度の対象

(1) 対象となる学校

大学・短期大学・高等専門学校（4・5年）・専門学校の4種類の学校が対象です。

(2) 対象となる方

次の2つの要件を満たすことが必要です。

- ① 世帯収入や資産が一定の範囲内にあること（家計基準）
- ② 高等学校の評定平均値が3.5以上であること、進学先で学ぶ意欲があることなど（学力基準）

※ 次ページの図を参照

2 募集時期について

授業料等減免の申込みは、進学後に各大学等で行う必要があります。

給付奨学金の生徒の申込み受付は4月下旬からはじまります。詳しくは日本学生支援機構のホームページにてご確認ください。

<https://www.jasso.go.jp/shogakuin/index.html>

3 授業料等の減免について

学校の種類や収入に応じて、授業料と入学金が減免されます（次ページの図を参照）。

表 1 授業料等の減免額（年額）・非課税世帯の場合

	国公立		私立	
	入学金	授業料	入学金	授業料
大学	28万円	54万円	26万円	70万円
短期大学	17万円	39万円	25万円	62万円
高等専門学校	8万円	23万円	13万円	70万円
専門学校	7万円	17万円	16万円	59万円

※単位未満を四捨五入しています。

4 給付型奨学金について

学校の種類や収入に応じて、日本学生支援機構から学生に対し、返済不要の奨学金が支給されます（次ページの図を参照）。

表 2 給付型奨学金の支給額（年額）・非課税世帯の場合

	国公立		私立	
	自宅通学	自宅外通学	自宅通学	自宅外通学
大学・短期大学・ 専門学校	35万円	80万円	46万円	91万円
高等専門学校	21万円	41万円	32万円	52万円

※単位未満を四捨五入しています。

5 減免額、支給額について

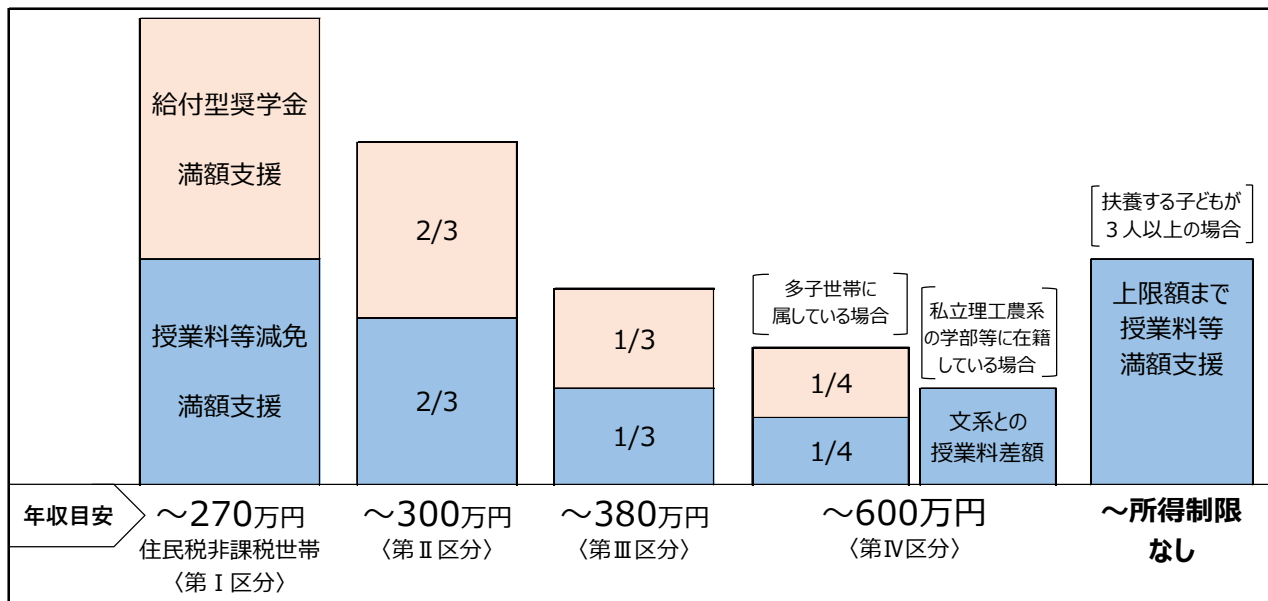
住民税非課税世帯に準ずる世帯の方は、住民税非課税世帯の方の2/3から1/4の額、進学先の学科等で授業料等の減免や、奨学金の支給を受けることができます。

多子世帯の場合、所得に関わらず一定額まで、授業料・入学金が免除となる支援が受けられる場合があります。

※ 次ページの図を参照



図 減免額、支給額の考え方



※ 年収は、4 人世帯の目安です。基準を満たす世帯年収は家族構成等により異なります。

※ 多子世帯は扶養する子どもが 3 人以上いる世帯となります。

※ 詳しくは日本学生支援機構のホームページでご確認ください。 <https://shogakukin-simulator.jasso.go.jp/>

おわりに

本制度により、進学を希望する生徒が、経済的な理由で進学をあきらめることなく、安心して学ぶことができる機会が広がります。

県教育委員会においても、経済的支援を必要とする生徒が本制度を活用できるよう、周知の活動に取り組んでまいります。

各学校においても、生徒一人一人に寄り添った進路指導をお願いいたします。

[お問い合わせ]

高等学校教育課 審査調整・奨学金係

電話 025-280-5638



「いじめ見逃しゼロ県民運動」の推進に向けて

生徒指導課

令和 8 年度 of 取組の方針

「深めよう 絆 にいがた県民会議」と県教育委員会が連携して行う「いじめ見逃しゼロ県民運動」は、前身の「いじめ根絶県民運動」から始まり、今年度で 20 年目を迎えました。

今年度の基本方針を以下の 4 つとし、県民運動を推進していきます。

＜令和 8 年度県民運動の基本方針＞

- ① 県民運動の広がりや、児童生徒の健全な育につながることから、広く県民に運動の趣旨を周知し県民の理解と参加を促す。
- ② 県民運動の構成団体や協賛企業・団体等と教育委員会が協同して企画・運営する活動を展開する。
- ③ 児童生徒への直接の語り掛けや、家庭、地域の取組に対する支援や助成を通して、学校や児童生徒に安心感と元気を届ける。
- ④ ICT の活用等により、効果的な取組の創出や充実を図る。

県民運動の主な取組

1 「県民サポーター」の募集

県民運動を応援する「県民サポーター」への登録を今年度も広く呼び掛けていきます。

「県民サポーター」に登録すると、LINE やメール等を通じて、個人サポーター（県内外で活躍する著名人）などからの「いじめ見逃しゼロコラム」や、県民運動に関する情報が配信されます。X でも情報を発信しており、随時、下記の二次元コードからどなたでも登録できます。

[LINE 登録]

[メール登録]

[X 登録]



2 「いじめ見逃しゼロキャラバン」派遣

個人サポーターや構成団体、協賛企業・団体等によるキャラバン隊が学校を訪問し、いじめ見逃しゼ

ロを訴えます。学校の要望に応じて、いじめ見逃しゼロスクール集会に参加したり、出前授業を行ったりします。

3 県民講座

学校や市町村、地域コミュニティ等が計画し、保護者や地域住民を対象とする、いじめ対策の研修会や講演会への支援等を行います。

4 「いじめ見逃しゼロ 県民の集い」

昨年度は、学校同士をオンラインでつなぐ「オンラインディスカッション」を行いました。今年度も参加者が直接意見を交わしながらいじめについて考えます。11月の新潟県教育月間に合わせて開催する予定です。詳細は決定次第、「新潟県いじめ対策ポータル(下記参照)」に掲載し、県民の皆さんにお知らせします。

「いじめ見逃しゼロ強調月間」

6月と11月は、新潟県全体で「いじめ見逃しゼロ」の機運を高める「いじめ見逃しゼロ強調月間」です。

県内の学校やコンビニエンスストア等に、アルビレックス新潟の選手をモデルにした啓発ポスターを掲示するとともに、学校等では様々な取組を行います。



「新潟県いじめ対策ポータル」

「新潟県いじめ対策ポータル」は、いじめ見逃しゼロに向けた様々な情報を、広く発信しているウェブサイトです。下記の URL、二次元コードからご覧ください。

<https://www.ijimetaisaku.pref.niigata.lg.jp/>



[お問い合わせ]

生徒指導課 支援・相談班

電話 025-280-5793



学校と地域の連携・協働の推進について

生涯学習推進課

はじめに

国の第 4 期教育振興基本計画では、「すべての公立学校に地域と連携・協働する体制を構築するため、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な取組を一層推進する」と示されています。県の第 2 期教育振興基本計画でも、施策の展開において学校と地域の連携・協働体制の構築を掲げています。

このように国・県ともに学校と地域が協働する取組を教育の重要な柱として位置付けています。

県内の整備状況

令和 7 年度の文部科学省調査によると、新潟県内（新潟市を含む）30 市町村のうち 27 市町村でコミュニティ・スクール制度が導入され、県内の小・中・義務教育学校の 86.3% が同制度を採用しています。

また、地域学校協働活動についても 88.8% の学校に地域学校協働本部が設置され、県内全域で体制整備が進んでいます。

一方で、「導入後に取組が深まらない」「早期導入校で形骸化が進んでいる」といった課題も見られます。県教育委員会では、引き続き制度理解の促進と取組の充実を支援していきます。

学校運営協議会の充実に向けて

コミュニティ・スクール及び地域学校協働活動の効果に関する調査研究によると、効果的な学校運営協議会には次の特徴が見られます。

- 学校運営の基本方針や目標が共有されている
- 「特色ある教育活動」に地域人材が活用されている

また、委員の属性が多様であるほど意見が活発になるという結果も同調査から示されています。議論をより豊かにするためには、委員構成を定期的に見直すことが有効です。構成変更

を求めるものではありませんが、任期満了や入れ替えの時期に多様な視点が入るよう検討する際の参考にしてください。

学校と地域の連携・協働に係る研修会

今年度は次の研修会を実施・予定しています。

【学校教職員向け】

- ・地域連携担当教職員研修会
5月28日（木） 実施済み
- ・地域とともにある学校づくり研修会
6月25日（木） 講師：安齋宏之氏
- ・地域と学校の連携・協働推進研修会
(地域学校協働活動研修会第 2 回を兼ねる)
7月28日（火） 講師：志々田まなみ氏

【地域の方向け】

- ・地域学校協働活動研修会
6月18日（木） 講師：志々田まなみ氏
9月29日（火） 講師：小見まいこ氏
10月29日（木） 講師：小見まいこ氏

おわりに

本県計画が掲げる「ふるさとへの愛と誇りを胸に、夢や希望を持って粘り強く挑戦し、未来を創ることができる人」を育てるためには、学校と地域が課題や目標を共有し、連携・協働して教育活動を進めることが重要です。

そのためには、学校と地域が共通の同じ方向を向き、地域に根ざした持続可能な教育環境を築いていくことが欠かせません。今年度も多くの方に研修へ参加いただき、学校と地域の連携・協働をさらに推進していきましょう。

[お問い合わせ]
生涯学習推進課 青少年家庭教育係
電話 025-280-5617



「土砂災害防止に関する絵画・作文コンクール」 について

土木部砂防課

はじめに

国土交通省と県では、毎年 6 月 1 日～30 日の「土砂災害防止月間」の行事の一環として、小・中学生を対象に「土砂災害防止に関する絵画・作文コンクール」を開催しています。土砂災害及びその防止に対する理解を深めるためにも、作品を作ってみませんか？

県では二次審査まで行い、小・中学生部門で選出された最優秀賞作品を、国土交通省で開催される中央審査委員会へ推薦します。そこで、見事、最優秀賞に選出されると、次年度の土砂災害防止月間ポスターデザイン等に使用される場合があるなど、土砂災害防止に関する啓発活動に活用されます。



【コンクールチラシ】

テーマ及び募集作品

応募していただく、テーマ及び募集作品は下記のとおりになります。

1 テーマ

- ・ 身近で起きた地すべり、がけ崩れなどの土砂災害の体験
- ・ 土砂災害のニュースを見て思ったこと

- ・ 土砂災害防止施設（砂防えん堤など）の様子や見学して思ったこと
- ・ 土砂災害から自分や家族の身を守ること、地域の方たちと助け合うことの大切さについて思ったことなど、土砂災害防止月間にあたり土砂災害防止に対し関心を深めるもの。 など

2 募集作品

(1) 絵画の部

作品の種類（絵画・版画・ポスターなど）やサイズ、表現方法（絵の具、クレパス、版画など）は自由

(2) 作文の部

400 字詰め原稿用紙で、小学校低学年は 2～3 枚、小学校高学年は 3～4 枚、中学生は 4～5 枚

※ 絵画・作文ともに未発表のオリジナル作品に限ります。

応募方法

1 提出方法

学校名、学年、氏名、ふりがな、タイトルを明記のうえ、郵送・宅配便（送料は送り主負担）又は直接持参で提出してください。

(1) 提出先

〒950-8570（県庁専用番号）

新潟市中央区新光町 4 番地 1

新潟県土木部砂防課管理調整係

(2) 募集期間 ※当日消印有効

令和 8 年 6 月 1 日（月）～ 9 月 15 日（火）

詳しくは砂防課ホームページをご確認ください。

<https://www.pref.niigata.lg.jp/site/sabo/1356817585178.html>

【お問い合わせ】
砂防課 管理調整係
電話 025-280-5422



「持続可能なグローバル社会の創り手」の育成支援について

公益財団法人新潟県国際交流協会

はじめに

前月号でもご紹介したとおり、新潟県国際交流協会では、様々な校種に対応した国際理解教育事業を実施していますが、その中の取組の一つとして、実際の教育現場で国際理解教育を実践する先生方を対象とした「国際理解教育推進支援事業」があります。

学習指導要領に「持続可能な社会の創り手」を育てるとあるが具体的に何をしたらよいか、子どもたちに地球規模の問題をどのように自分事として捉えさせるか、子どもたちでも取り組める活動にはどのようなものがあるか、などの先生方の悩みに対し、先生自身に様々な文化や価値観に目を向けるきっかけを提供し、これらの悩みと一緒に向き合うセミナーなどを通して、授業実践のお手伝いをしています。



ハラルフードをとおして多文化共生を身近に感じるセミナー

国際教育研究会 RING について

この事業を新潟県国際交流協会から受託して企画から運営まで行っているのは、教育関係者などが主体となって活動している国際教育研究会 RING（以下「RING」という。）です。RING は、学校教育において統一的な指導方針のない国際理解教育の充実を目指し、平成 24 年に NPO 法人にいがた NGO ネットワークの組織として発足しました。徐々に参加教職員等が増える中、JICA 新潟デスクなど様々な方や機関と連携しながら、教育関係者のみならず、広く一般の方々や学生などが集い、魅力ある学びと出会いの場を創造しています。毎回、参加者からの評価も

高く、「授業における生徒たちの話し合いなどに今回の視点や手法を生かしたい」「本やインターネットの文字情報だけでは分からない生の声を聞かせていただけた」などの感想が寄せられています。

これからの RING について

今年度も多様なテーマでセミナーの開催を予定しています。9月12日（土）には、長岡市において平和や人権、グローカル（地球的規模で考え、足元から行動すること）への意識や行動を高めることを目的としたセミナーを開催します。その後も、9月26日（土）には佐渡市で文化の多様性を身近に感じるワークショップを、11月7日（土）にはパレスチナ問題と私たちはどう向き合えばよいかを考えるオンラインセミナーを予定しています。



より参加しやすいようオンラインでも開催

おわりに

地球のことを知り、互いを認め合い、共に幸せに生きていくにはどうしたらよいかを考え行動できる子どもたちを育てる、そのような教育の実践のお手伝いや、教員のみならず多様な人々との出会いの場を提供していきますので、多くの皆様のご参加をお待ちしています。

詳しい内容は、RING インスタグラム及び協会のホームページをご覧ください。

[お問い合わせ]

公益財団法人新潟県国際交流協会
電話 025-290-5650



RING インスタ

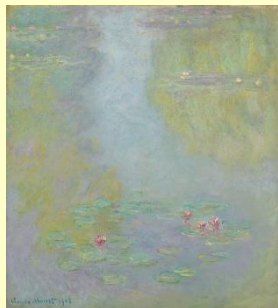


協会 HP



インフォメーション

● 県立近代美術館（長岡市）



クロード・モネ《睡蓮》1908年 東京富士美術館蔵
©東京富士美術館イメージアーカイブ/DNPpartcom

西洋絵画 400 年の旅 — 珠玉の東京富士美術館コレクション

国内外の幅広い時代の作品を収蔵する東京富士美術館。中でも西洋絵画コレクションは、ルネサンスから近現代美術までを網羅した、国内屈指の充実度を誇っています。同館のコレクションから厳選された 80 点あまりの油彩作品を通して、西洋絵画 400 年の歴史を旅します。

- 会 期 6月27日(土)～8月23日(日)
- 観覧料 一般 1,600円 (1,400円)
- 大学・高校生 1,000円 (800円) 中学生以下無料

「コレクション展 2026年度 第2期」

- ◇ 没後90年 土田麦僊と京都画壇の作家たち
- ◇ 親と子のワクワク美術館 からだでみる
- ◇ 近代美術館の名品

- 会 期 6月9日(火)～8月30日(日)
- 観覧料 一般 430円 (340円)
- 大学・高校生 200円 (160円) 中学生以下無料

※()内は有料 20 名以上の団体料金。
 ※大学・高校生は学生証をご提示ください。
 ※障害者手帳をお持ちの方は観覧料免除。
 手帳をご提示ください。
 ○休 館 日 毎週月曜日 (ただし、6/15(月)、7/20(月)、8/10(月)は開館)、6/16(火)、7/21(火)
 ※6/1(月)～6/8(月)は展示替えのため休館します。
 ○開館時間 午前9時～午後5時
 (観覧券販売は午後4時30分まで)

「親子ふれあいデー」

- 中学生以下の子を同伴する保護者のコレクション展 観覧料が無料になります。(企画展は対象外)
- ※6月の親子ふれあいデーは、6月27日(土)です。

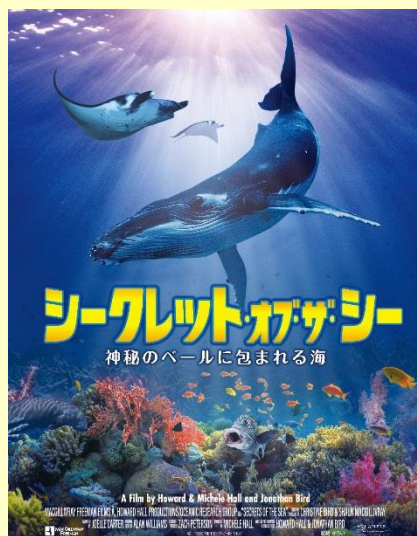
県立近代美術館
 所在地 長岡市千秋3丁目278-14
 TEL: 0258-28-4111
 URL: <https://kinbi.pref.niigata.lg.jp/>

● 県立自然科学館（新潟市）

プラネタリウム夏の番組 「シークレット・オブ・ザ・シー 神秘のベールに包まれる海」

愛らしいピグミーシーホースやクマノミ、ケルプの森のラッコやエンゼルフィッシュが集まるマンタなど、小さな魚から大きなクジラまで海の世界は、驚きの生きものたちの宝庫です。

まばゆいターコイズブルーに彩られた映像美とともに未知なる海の神秘を描いたドキュメンタリー。



- 会 期 6月20日(土)～9月14日(月)
- 会 場 1階 プラネタリウム
- 観 覧 料 大人 210円
- 小・中学生 100円

※別途入館料(大人 580円/小・中学生 100円)
 ※障害者手帳、療育手帳をお持ちの方は入館料・観覧料が免除になります。券売所で御提示ください。
 ○休 館 日 火曜日(※7月28日を除く)、
 6月15日(月)、17日(水)

- 開館時間
 (平日) 午前9時30分～午後4時30分
 (土日祝) 午前9時30分～午後5時
 (入館券の販売は閉館30分前まで)

県立自然科学館では平日に限り、団体用プラネタリウムや実演プログラムを用意しています。詳しくは[こちら](#)を御覧ください。

県立自然科学館
 所在地 新潟市中央区女池南3-1-1
 TEL: 025-283-3331
 URL: <https://www.sciencemuseum.jp/>



● 県立万代島美術館 (新潟市)

鹿島茂コレクション

花開くパリ・モダン



ジョルジュ・バルビエ《クロティルド&アレクサンドル・サカロフ》1921年 ©鹿島直 (NOEMA Inc.)

フランス文学者、鹿島茂氏が40年以上にわたり収集を続ける膨大な西洋古書コレクションを新潟で初めて公開する展覧会です。2つの大戦を含む急激な時代の変化を経験した20世紀前半のフランスで開花した新しい時代の感覚—「モダン」の様相を、鹿島茂コレクションならではの視点で紹介します。

○会 期 7月11日(土)～9月6日(日)
○休 館 日 7月13日(月)、27日(月)、
8月17日(月)、24日(月)、31日(月)

○開 館 時 間 午前10時～午後6時
(観覧券の販売は午後5時30分まで)

○観 覧 料 当日券／一般1,500円(1,300円)
大学・高校生1,100円(900円)

※中学生以下無料

※()内は有料20名以上の団体料金。

※障害者手帳をお持ちの方は観覧料免除。

県立万代島美術館
所在地 新潟市中央区万代島 5-1 朱鷺メッセ内
万代島ビル5階
TEL:025-290-6655
URL:<https://banbi.pref.niigata.lg.jp/>

● 県立歴史博物館 (長岡市)

県立歴史博物館 夏季テーマ展示
「初公開 布 新収蔵品」

民俗資料は、聞き取り調査などを通して「資料」の価値を見出していきます。本展では「布」をキーワードに、近年寄贈された新収蔵品200点を展示します。布に関わる人々の営みを通して、地域の衣生活の特徴と歴史の変遷を読み解きます。



一之貝 紺よそ行き着(紬) (長岡市一之貝・昭和)

○会 期 7月11日(土)～8月23日(日)
○開館時間 午前9時30分～午後5時
(観覧券の販売は午後4時30分まで)
○会 場 県立歴史博物館企画展示室
○休 館 日 月曜日(月曜が祝休日の場合は
翌平日、8/3(月)は開館)
○観 覧 料 一般520円、高校・大学生200円、
中学生以下無料

※学校団体でご観覧の場合は、新潟県内の学校は無料です。事前にお申込みください。

県立歴史博物館
所在地 長岡市関原町1丁目2247-2
TEL:0258-47-6130
URL:<https://nbz.or.jp/>



●新潟県埋蔵文化財センター（新潟市秋葉区）

新潟県埋蔵文化財センター企画展 1「開館30周年記念-地域に開いた歴史の扉-」

新潟県埋蔵文化財調査事業団が発掘調査し、現在は市町村に譲与された出土品を中心に、新潟県の歴史を紐解くうえで重要な出土品を選びすぐりで展示します。



長岡市大武遺跡出土銅製花瓶（鎌倉・室町時代、高さ 10.2 cm）

- 期 日 8月23日（日）まで
- 時 間 午前9時～午後5時
- 会 場 新潟県埋蔵文化財センター
- 観覧料 無料
- 展示品 長岡市大武遺跡の銅製花瓶、新潟市江南区西郷遺跡の足型付土版など優品を多数展示します。
- 関連講演会
- 第1回：6月7日（日）「新潟県の縄文時代」
加藤元康（新潟県埋蔵文化財センター）
- 第2回：6月20日（土）「新潟県の弥生時代」
滝沢規朗氏（新潟県文化課世界遺産室）
- ※第1回・第2回とも会場は新潟県埋蔵文化財センター研修室、時間は13:50～15:20（13:20受付開始）

新潟県埋蔵文化財センター
所在地 新潟市秋葉区金津 93 番地 1
TEL: 0250-25-3981
URL: <https://www.maibun.net/>

にいがた
教育の日
KYOIKU NOV.1

※PDF ファイルで御覧の方は、下線部(Web ページアドレス)をクリックすると、直接該当 Web ページにジャンプしますので御活用ください。

※県ホームページからバックナンバーも御覧いただけます。
「新潟県 教育月報」で検索してください。

教育月報

発行所 新潟県教育庁総務課
所在地 〒950-8570
新潟市中央区新光町 4 番地 1
電 話 025-280-5587
F A X 025-256-8624
E-mail : ngt500010@pref.niigata.lg.jp
Web 版 URL :
<https://www.pref.niigata.lg.jp/site/kyoiku/>
本紙に関する御意見がありましたら、お寄せください
<無断転載を禁ず>